

「ぎふ いのちの教育」

飛騨教育事務所



1. 「ぎふ、いのちの教育」とは？

不登校児童生徒の増加が続き、若年層の引きこもりや自殺者の増加が社会問題化しています。また、コロナ禍等を背景に、夢や希望がもちづらいなど、将来や生きることへの不安が増長しています。

このような中で、岐阜県の全学校において、家庭や地域、関係機関と連携・協働しながら、児童生徒一人一人に、自分と他者の生命の大切さやかけがえない生命についての自覚を深めると共に、自分らしさを発揮しよりよく生きようとする意欲や態度を育てていく営みです。

2. 「ぎふ、いのちの教育」に関わる取組

「いのち」に関わる取り組みは、教育活動全般に及びますが、「生きる喜びにふれる・生命の尊さを知る・かけがえない生命について考える・よりよく生きることを求める」をキーワードに、主な取組を下の4つに分類しました。

<幼・小・中・高・特別支援学校> 生きる喜びにふれる / 生命の尊さを知る / かけがえない生命について考える / よりよく生きることを求める			
健康教育	いじめ防止・不登校支援の教育	自殺予防教育	心の教育
●健康と命の大切さ、命の誕生、性に関する理解 <<体育・保健体育>> ・思春期にあらわれる変化<小4年> ・薬物乱用と健康被害<小6年> ・生殖機能の成熟<中1年> ・異性の尊重と性情報への対処<中1年> ・薬物乱用の害(依存症)と健康<中3年> ・災害時対応、心肺蘇生<中2> <<技術・家庭科>> ・幼児の発達と生活、家族<中3年> <<特別活動(学級活動)>> ・新しい命の誕生<小中> ・産婦人科医、新生児内科医による講話 ・正しい性の理解<小中> ・防災教育<小中>	●温かい人間関係づくり、居場所と絆づくり <<温かい人間関係づくり>> ・協働的な学びによる学習内容の確実な定着 ・児童/生徒会活動を通じた集会活動、異学年、校種間等の交流 ・演劇ワークショップ等の手法を活かした活動 <<心の居場所づくり>> ・県民運動を活かした居場所づくり ・家族や地域とのふれあいを通じた絆づくり <<教育相談等のサポート体制づくり>> ・S.C、S相やSSW等を活かす相談体制の整備 ・校内教育支援センター「ほっとプレイス」 ・教育支援センターやフリースクール等との連携による学習保障	●SOSの出し方教育、性被害から守る予防教育 <<「SOSの出し方・受け止め方に関する教育」>> ・相談窓口の周知、電話やメールでの相談 ・S.C、S相、養教とのTT指導による授業(ロールプレイ、小中学生用啓発教材、自殺予防啓発動画の活用等) <<「性被害から守る予防教育」>> ・「セーフティファイブとプライベートゾーン」教育 ・心と身体を守る「くもくん教室」(県警) <<教員・保護者研修>> ・性被害、児童虐待等の防止(県警との連携) ・司法面接と初期対応の研修/DVD ・児童虐待等の認知時における初期対応	●生命尊重、生きる喜びを実感する体験活動 <<道徳教育・人権教育>> ・外部講師の参画、体験活動や討議等を取り入れた教育活動の工夫、道徳科の授業改善 ・全教育活動を通じた人権教育の推進 <<体育・保健体育>> ・心と体のつながりを考える<小5年> ・心の発達、欲求と心の健康<中2年> <<特別活動(学校行事、学級活動)>> ・芸術文化活動を通じた情操の涵養 ・多様な生き方への気付きの喚起 <<総合的な学習の時間>> ・医療等の専門家と共に考えるかけがえない生命とよりよく生きること(小中)

- *今までも行ってきた学校の取組を整理し、意図的に焦点化して取り組むとよいです。
- *校区の園や学校種と連携したり、家庭や地域と協働した取組を行ったりするとよいです。
- *各種学校訪問において、取組の好事例等を教えていただいたり、他の好事例を紹介させていただいたりします。

3. 飛騨教育事務所の重点 → 「学校と家庭、地域、行政が協働しながら取り組む「ぎふ、いのちの教育」

各学校の実情を踏まえ、「ぎふ、いのちの教育」の指導課程について、教科領域を横断的にマネジメントし、学校と家庭、地域、行政が協働しながら推進と充実を図る。
 ◆授業の中の生徒指導 ◆家庭教育や社会教育及び行政との協働 ◆SOSの出し方・受け止め方教育 ◆「あったかい言葉がけ運動」に「いのち」のテーマ

4. 参考資料や研修動画のご紹介

NITS 独立行政法人教職員支援機構
校内研修シリーズ

「初等中等教育の充実」の中に、いじめ問題、学校安全、道徳教育、人権教育等、参考になる研修動画が多数あります。



生徒指導提要(R4.12月改訂版)

いじめ対応、不登校、自殺、暴力行為、性に関する課題等々、指導上参考になる情報が満載です。



教育相談 これだけは！

H25.9 岐阜県教育委員会 作
児童生徒一人一人の心に寄り添いながら教育相談を進めていくことができるように、大切な考え方を凝縮したものです。手元に置いて、教育相談的な働きかけを意識したいものです。

